

取扱説明書 初版

自走式バキュームブロアー

HG580-159S-00

無鉛レギュラー
ガソリン

ご使用前に、必ず取扱説明書をお読みになり、
内容を理解してからお使いください。



このQRコードを
読み取ることで、組立てや
運転操作の仕方などを
動画でご覧いただけます。



目次

はじめに	3	運転操作の仕方	22
安全上のご注意 商品を長くご愛顧いただくために		エンジンのかけ方	22
安全にお使いいただくために	4	エンジンの止め方	22
自走式バキュームブロアーの安全に係る事項	4	エンジンが止まらない場合	23
自走式バキュームブロアーの作業に係る安全事項	5	作業の仕方	24
安全ラベル	6	吸い込み禁止（一例）	24
各部の名称	7	バキューム機能を使う（ホースなし）	24
主要諸元	8	ホースによるバキューム機能を使う	25
梱包部品一覧表	9	ブロアー機能を使う	26
組立て	10	オプション品を装着して使う	27
ハンドルの取付け	10	点検・整備の仕方	28
ダストバッグの取付け	11	エンジンオイルの点検・交換	28
ワイヤクリップの取付け	12	燃料の抜き取り	29
ガイドローラーの取付け	13	エアクリーナー	29
ホースの取付け	13	点火プラグの点検・整備	30
吸引下プレートの取付け	14	グリス・潤滑油の塗布	30
ブロアー時の取付け	15	各部の緩みやガタツキの点検	30
オプション品：ローラーブラシ	16	各部の異音の点検	30
オプション品：ローラーくしブラシ	17	走行・ローラー駆動ワイヤの張り調整	31
各部の取扱い	18	アクセルワイヤの張り調整	31
走行レバーとローラー駆動レバー	18	長期間使用しない時	32
アクセルレバー	18	故障と思ったら	33
オイル給油口	18	消耗品一覧・ご注文	34
ドレンボルト	18	保証内容について	35
リコイルスターター	18	お客様ご相談窓口	36
高さ調整レバー	19		
ガイドローラー	19		
ダストバッグ	19		
運転前の点検	20		
エンジンオイルの点検・補充	20		
燃料の点検・補充	20		
走行レバーとローラー駆動レバー	21		
アクセルレバー	21		
ホースの点検	21		
各部の緩みやガタツキの点検	21		

はじめに

このたびは自走式バキュームブロアーをお買い上げいただき誠にありがとうございます。
安全に正しくお使いいただくために、ご使用前にこの取扱説明書を必ずお読みください。

**誤った使い方をされますと重大な事故につながる恐れがあります。
この取扱説明書を熟読しご理解してからご使用ください。
また、各ページの警告・注意事項も飛ばさず、必ずお読みください。**

安全上のご注意

※お使いになる人や他人への危害・財産への損害を未然に防ぐため、必ずお守りいただくことを説明しています。

※誤った取扱をした場合に生じる危険とその程度を次の区分で説明しています。

- 表示と意味をよく理解してから、本文をお読みください。
- お読みになった後は、お使いになる方がいつでも見ることができる所に、必ず保管してください。
- すべて安全に関する内容です、必ずお守りください。



警告

誤った取扱をした時に、死亡や重傷に結びつく可能性のあるもの。



注意

誤った取扱をした時に、軽傷または家屋・財産などの損害に結びつくもの。



禁止

取扱においてその行為を禁止します。



指示

指示に基づく行為を強制します。

商品を長くご愛顧いただくために

取扱説明書に従った正しい取扱や定期点検、保守を行ってください。

注意事項に従わず何らかの損害・故障が発生した場合、保証の対象外となりますのでご注意ください。

安全にお使いいただくために

誤った使い方をされますと重大な事故につながる恐れがあります。下記を熟読しご理解してからご使用ください。また、各ページの警告・注意事項も飛ばさず、必ずお読みください。

自走式バキュームブロアーの安全に係る事項



警告



禁止

- 燃料の臭いがする場合、運転しないでください。爆発の危険があります。
- エンジンの排気ガスには人体に有毒な成分が含まれています。特に一酸化炭素は無色無臭で非常に強い毒性があり、吸入すると死亡の恐れがあります。
- エンジンが熱いうちは、給油しないでください。
- 燃料が漏れたり、こぼれたままエンジンをかけないでください。
- 運転時、給油時、喫煙など火気を発生させないでください。
- 換気の悪い場所ではエンジンをかけないでください。
- 可動している部分の近くに手又は足を入れしないでください。
- エンジン回転中及び停止後しばらくの間はエンジンやマフラーなどが熱くなっています。触れると火傷することがありますので注意してください。
- 改造、分解は絶対行わないでください。安全性・信頼性が低下したり故障の原因になります。当社の保証サービスは一切受けられなくなります。
- 正しい操作を知らない人、子供、妊娠中の方には操作をさせないでください。
- 未成年者の単独使用は禁止です。監督下で作業してください。
- 成年者でも、操作の仕方がよく分からない場合は、独自の使用をしないでください。
- 運転中に回転部及び可動部(出力軸・フライホイール・ファンベルト・プーリー等)に手や足及び衣類を絶対に近づけないでください。触れると巻き込まれ重大な事故の恐れがあります。
- 運転中は絶対投入口、排出口をのぞき込んだり、排出口の下に入らないでください。
- 周囲の動植物等にも排気ガスが当たらないように注意をしてください。






指示




- 自動車で運搬する時は、燃料タンクの燃料を抜いてください。振動等により燃料が漏れることがあります。
- 給油時は、付近にタバコ等の火気の無いことを確認してください。燃料は非常に引火しやすく、気化した燃料は爆発の危険があります。
- 給油中にこぼれた燃料はきれいに拭きとってください。燃料を拭いた布等は、火災に注意して処分してください。
- 燃料を衣服にこぼした場合、直ちに衣服を着替えてください。衣服へ引火する危険があります。
- 給油は、身体に帯電した静電気を除去してから行ってください。引火の恐れがあります。
- 給油時、燃料タンクの給油限界位置を超えないようにしてください。温度上昇によって燃料が膨張し、漏れることがあります。
- 燃料タンクキャップは確実に締めてください。運転中にこぼれると火災の恐れがあります。
- 運転前に燃料漏れがないか点検・確認してください。
- 点火源となるような機器の近くに保管しないでください。燃料蒸気へ引火する恐れがあります。
- 運転中に高圧コードや点火プラグキャップに触れないでください。感電する恐れがあります。
- 使用中に異常音、異常振動があった時は、直ちに使用を中止し、点検、修理を行ってください。
- ご使用前にこの説明書をお読みになり取扱の注意事項をよくご理解の上ご使用ください。
- 停止中でも、直接刃物に触れないでください。怪我をすることがあります。
- エンジンの周りに、木くずなど燃えやすいごみを蓄積させないでください。
- 点検整備を行なう場合はエンジンを停止してください。思わぬ事故につながる恐れがあります。
- 点検整備を行なう場合は、エンジンスイッチをオフにしてください。エンジンが不意に始動すると、思わぬ事故につながる恐れがあります。
- ガソリンエンジンの点検整備を行なう場合は、点火プラグキャップを外してください。エンジンが不意に始動すると、思わぬ事故につながる恐れがあります。
- 点検整備はエンジンが冷えてから行ってください。エンジン本体やマフラー部のほか点火プラグの温度も高くなっており、火傷の恐れがあります。
- エンジンを始動するときは、周囲に人や動物がいないことを確認してください。
- 始動前点検を実施してください。




安全にお使いいただくために

自走式バキュームブロアーに係る安全事項

 注意	
 禁止	<ul style="list-style-type: none">指定された用途以外には使用しないでください。
 指示	<ul style="list-style-type: none">燃料はレギュラーガソリンを使ってください。長期保管する場合は、燃料タンクの燃料を抜き取り、火気のないところに保管してください。給油中、燃料タンク内に雪や水が入らないように注意してください。部品交換は、純正部品を使用してください。本機をご使用になる前に、エンジンの始動、停止の仕方を覚えてください。定期点検整備を行ってください。子供の手の届かない安全な場所に保管してください。

自走式バキュームブロアーの作業に係る安全事項

 警告	
 禁止	<ul style="list-style-type: none">身体の調子が悪いとき、判断力に影響するような酒類、薬物を服用して使用しないでください。動作中に回転部分に顔や手足を近づけないでください。ご使用時は、使用者から12m内は危険です、人や動物が入らないようにしてください。夜間、悪天候時、霧の発生時など、視界が良くないときは使用しないでください。足元が滑りやすい、転倒しやすい場所では使用しないでください。作業中に異物に当たったり、異物を吸い込んだ場合には、速やかにエンジンを停止し、回転部が完全に停止してから異物を除去し、異常がないか調べてください。異常があった場合には、完全に補修した後でなければ本機を再始動しないでください。燃料タンク内に燃料を入れたまま運搬、保管しないでください。
 指示	<ul style="list-style-type: none">適切な時期に休憩をとってください。本機から離れる時は、必ずエンジンを停止してください。危険を感じたり、予測される場合も、必ずエンジンをすぐに停止してください。持ち運ぶ時は、エンジンを停止し、燃料タンクから燃料を抜き取ってください。

 注意	
 禁止	<ul style="list-style-type: none">機械の稼働部分に絡まるような衣服、装飾品、タオルなどは着用しないでください。エンジンがかかっている状態で本機から離れないでください。
 指示	<ul style="list-style-type: none">長袖、長ズボンを着用し、すべりにくい靴、手袋、防塵マスクなどの作業に適した服装を心掛けてください。長い髪は束ねて帽子、ヘルメットでカバーしてください。シートカバーなどは機械が十分冷めてからかけてください。定期点検整備を行ってください。本機を長時間保管する時は、取扱説明書にしたがって保管してください。

安全ラベル

カバーを硬いところに当てないでください。破損します。



マフラー
高温注意

マフラーに触るとやけどをする恐れがあります。



取扱説明書をお読みください。	傍観者を遠ざけてください。	操作中は回転部分に触れないでください。	有毒ガス：屋内では操作しないでください。	保護手袋を着用。手足に注意を払ってください。

点検修理の際は、点火プラグを外し、取扱説明書に従ってください。	注意：エンジンは高温です。	作業者を保護するために、保護眼鏡や耳栓を着用してください。			

⚠ 警告

- ・ガソリンは引火性と爆発性が高い危険物です。
- ・給油の前には、エンジンを切って冷やしてください。
- ・エンジンは有毒な一酸化炭素を排出します。
- ・密閉された場所では使用しないでください。
- ・取扱説明書は必ずお読みください。

<div style="background-color: #ff0000; color: white; padding: 5px; border-radius: 5px;"> <div style="text-align: center; font-weight: bold; font-size: 1.2em;">⚠ 警告</div> <ul style="list-style-type: none"> ・燃料の臭いがある場合、運転しないでください。爆発の危険があります。 ・燃料の漏れが見受けられたら、使用しないでください。 ・エンジンが熱いうちは、給油しないでください。 ・燃料が漏れたり、こぼれたままエンジンをかけないでください。 ・運転時、給油時、喫煙など火気を発生させないでください。 ・給油は、身体に帯電した静電気を除去してから行ってください。引火の恐れがあります。 ・給油時、燃料タンクの給油限界位置を超えないようにしてください。温度上昇によって燃料が膨張し、漏れることがあります。 </div>	<div style="background-color: #ff0000; color: white; padding: 5px; border-radius: 5px;"> <div style="text-align: center; font-weight: bold; font-size: 1.2em;">⚠ 注意</div> <ul style="list-style-type: none"> ・燃料タンク内に燃料を入れたまま運搬、保管しないでください。 ・持ち運ぶ時は、エンジンを停止し、燃料タンクから燃料を抜取ってください。 ・燃料タンク内に雪や水が入らないようにご注意ください。 ・30日以上長期保管する場合は、燃料タンクの燃料を抜き取り、火気のないところに保管してください。 </div>
---	--

各部の名称



主要諸元

型番	HG580-159S-00
タイプ	バキューム&ブロアー
総排気量	159 cm ³
最高出力	2.7kW
エンジン	4ストローク
始動方法	リコイルスターター
燃料	無鉛レギュラーガソリン
燃料タンク容量	1L
エンジンオイル	10W-30
エンジンオイル容量	0.55L
エンジンスピード	3,400r/min
自走スピード	3.4km/h
ダストバッグ容量	135L
吸引口高さ調整	15-50mm
吸引速度	26m/s
排出速度	43m/s
騒音レベル	105dB(A)
本体重量	46kg
サイズ	L1305×W602×H1080mm


※ハイガー産業は、顧客満足度 100%を目指し、日々製品（部品やカラーも含め）の改良を行っています。
そのため、予告なく仕様を変更する場合があります。
また、取扱説明書に最新情報が反映されない場合があります。ぜひご理解・ご了承ください。

梱包部品一覧表



1. ユニットとすべてのアクセサリを慎重に箱から取り出し、すべてが完全であることを確認してください。
 2. 装置を注意深く点検し、輸送中の損傷がないことを確認してください。
 3. 梱包材を慎重に検査し、使用する前に廃棄しないでください。
- 不足している場合は、お手数ですがハイガー産業株式会社までご連絡ください。

警告

・不足しているものがある場合は、不足している部品を入手するまで使用しないでください。

A. 本体		D. ダストバッグブラケット	
			
B. 吸引下プレート	L. ダストバッグ	E. 走行レバー	
			
C. 伸縮操作パイプ		F. ホースブラケット	
			
G. ホース	H. ノブナット	J. ワイヤクリップ	K. ネジ類
			
	I. ガイドローラー		L. プラグレンチ
			

■オプション品(別売) ※同梱はされていません。

L. ローラーブラシ	M. サッチング刃
	

組立て

警告

- エンジンスイッチを OFF にしてから、作業を行ってください。
- 作業中にエンジンを始動するようなことは絶対にやめてください。また周囲に子供や動物が近づかないよう配慮をお願い致します。

注意

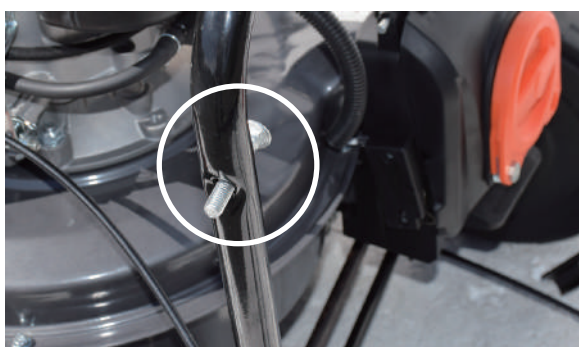
- 作業には工具を使用します。必ず用途やサイズの合ったものを使用し、自身や周囲の確認をしながら安全に作業を行ってください。



この QR コードを読み取ることで、「組立て」を動画でご覧いただくことができます。パソコンでご覧になる場合は、<http://www.shop.haige.jp/video/hg580-159s-00n.html>

ハンドルの取付け

- 1** 下ハンドルの取付穴にボルト (K-2) を内側から挿入します。



- 2** 上ハンドルをかぶせ、外側からノブナットで固定します。この段階では仮留め程度にします。上ハンドルには、ハンドルの高さを変えるための上下2カ所の穴があります。



- 3** 上ハンドルが取付いた状態です。



- 4** 上ハンドルの穴に走行レバーを取付けます。

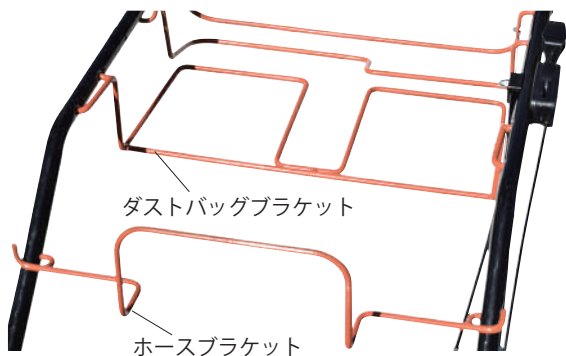


- 5** 走行レバーを取付け、走行ワイヤを取付けます。



組立て

- 6** ダストバッグブラケットとホースブラケットを取付けます。



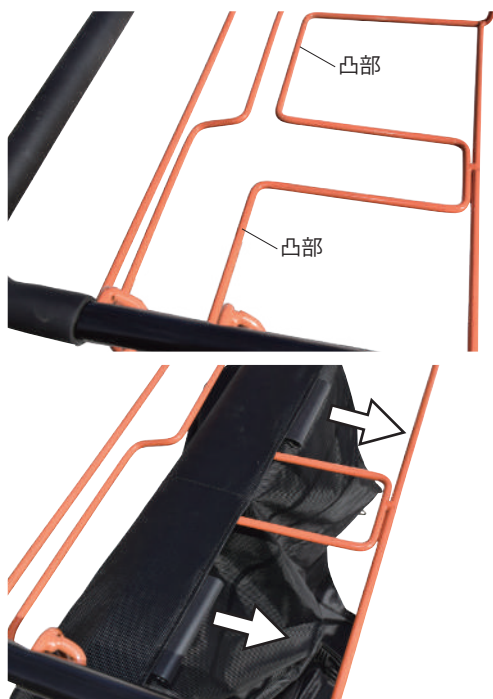
- 7** 左右のノブナットを均等に締付けます。



ダストバッグの取付け

バキュームとして使用する場合はダストバッグを取付けます。

- 1** ダストバッグブラケット凸部にダストバッグの上部ポケットを挿込みます。



- 2** ダストバッグ上部のフックをブラケットに固定します。

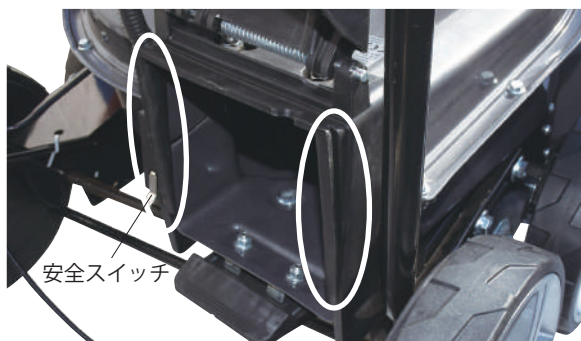


- 3** リヤカバーの下側のレバーを押し、ロックを解除しカバーを開けます。

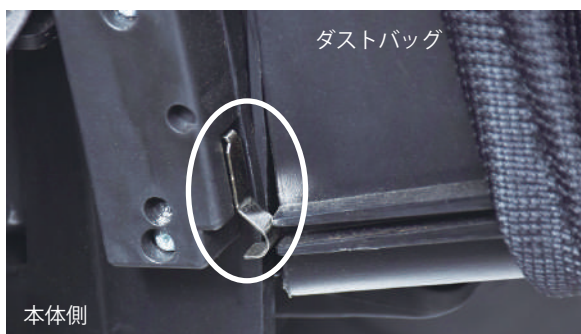


組立て

- 4** 本体側の縦溝に、ダストバッグの凸部を上からスライドしてはめ込みます。



- 5** ダストバッグの吸込口が、本体左側の安全スイッチを確実に押していることを確認します。押されていないとエンジンはかかりません。



- 6** ダストバッグのフックをホースブラケットの突起部分に引っ掛けます。



ワイヤクリップの取付け

- 1** ワイヤクリップにコードを挟み込み、ハンドルに取付けます。振動で頻繁に外れるようであれば、結束バンド（インシュロック）等で固定をしてください。



組立て

ガイドローラーの取付け

作業中に壁際や縁石などに本体が当たって破損すること防ぎます。ノズルトップカバーの両サイドにガイドローラーを取付けます。

- 1 ボルト(K-1)を下から通し、ワッシャ(K-3)を2枚ボルトに通します。



- 2 ガイドローラーを通し、最後に蝶ナット(K-4)で固定します。
※紛失を防止するため、広い敷地等で使用する場合は取外しおくことをおすすめします。



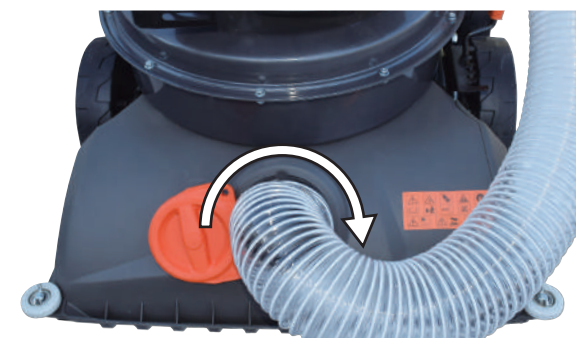
ホースの取付け

バキュームとして使用する場合は、フロントにホースを取付けます。

- 1 吸引カバーをスライドさせ開けます。



- 2 ホースの突起部と吸引穴の凹部分を合わせ、時計回りで固定します。



組立て

- 3** ホース吸引ノズルから出ているパイプの突起と、伸縮操作パイプの穴の位置を合わせはめ込みます。



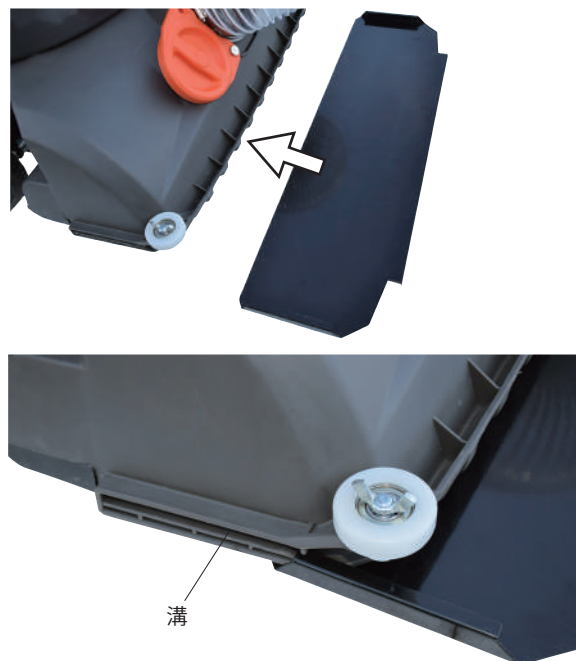
- 4** 伸縮操作パイプのボタンをスライドさせ、パイプを引っ張るとパイプが伸びます。



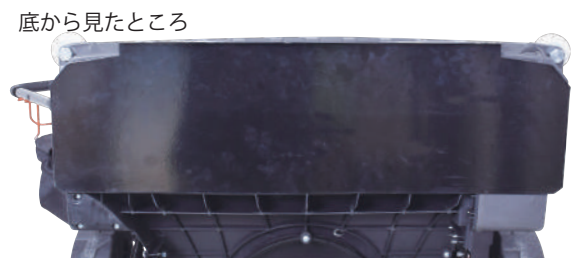
吸引下プレートの取付け

ホースによるバキュームとして使用する場合は、ノズルトップカバー下に吸引下プレートを取付けます。

- 1** 吸引下プレートをノズルトップカバーのサイドの溝にはめます。



- 2** 吸引下プレートをスライドさせ奥までしっかりはめます。



組立て

ブロアー時の取付け

ブロアーとして使用する場合は、リヤカバーにホースを取付けます。

- 1 吸引下プレートを外し、ホースブラケットに収納します。



- 2 吸引下プレートの折り返し部分をホースブラケット引っ掛けます。



- 3 ダストバッグの吸込口を外し、リヤカバーをスライドさせ開けます。



- 4 ホースの突起部と吸引穴の凹部分を合わせ、時計回りで固定します。



組立て オプション品



このQRコードを読み取ることで、「組立て」を動画でご覧いただくことができます。パソコンでご覧になる場合は、<http://www.shop.haige.jp/video/hg580-159s-00n.html>

ローラーブラシ

ノズルトップカバー下の吸引口に取付けます。

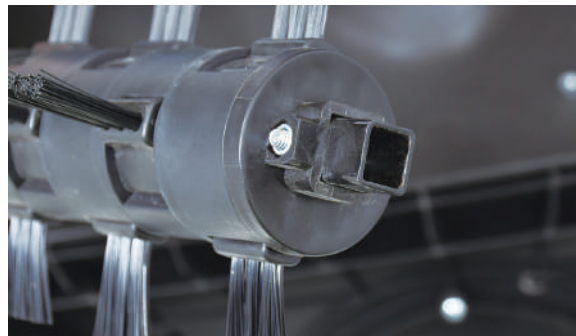
- 1 吸引下プレートを外します。



- 2 左側のロックレバーを押し上げ、ホルダーを外します。無理な力は加えないでください。破損の原因になります。



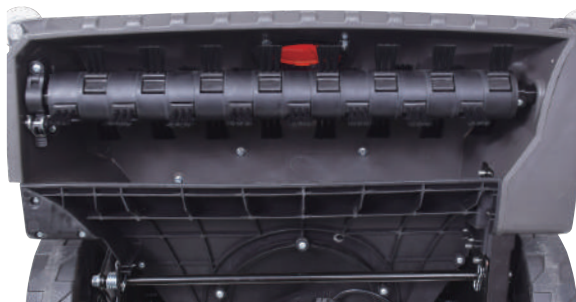
- 3 右側の四角いシャフトにローラーブラシの四角い穴を合わせ挿込みます。



- 4 左側にローラーブラシをセットします。奥までしっかり入れます。



- 5 ロックレバーを押し上げながらホルダーを戻します。



組立て オプション品



この QR コードを読み取ることで、「組立て」を動画でご覧いただくことができます。パソコンでご覧になる場合は、<http://www.shop.haige.jp/video/hg580-159s-00n.html>

サッチング刃

ノズルトップカバー下の吸引口に取付けます。

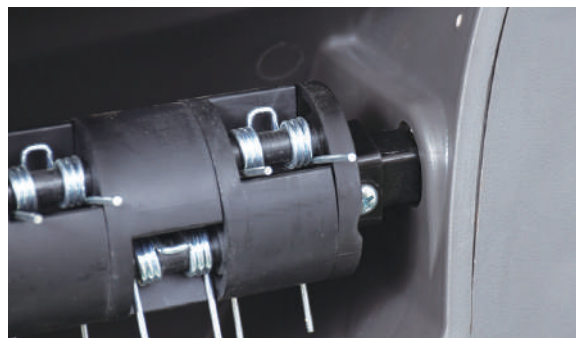
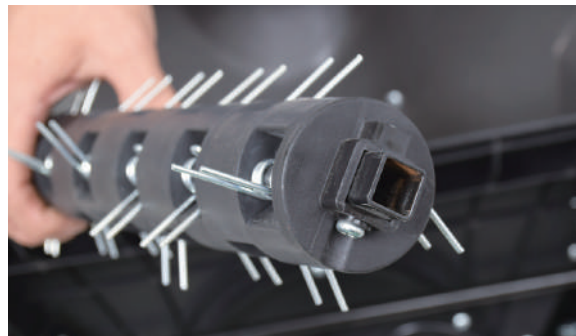
- 1 吸引下プレートを外します。



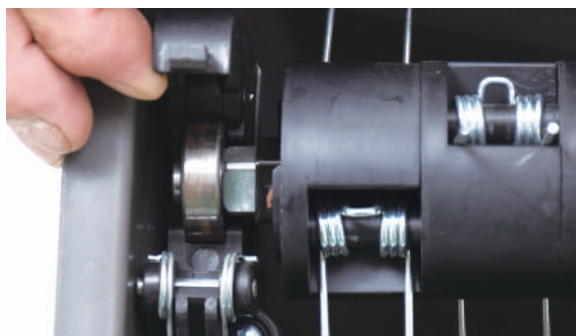
- 2 左側のロックレバーを押し上げ、ホルダーを外します。無理な力は加えないでください。破損の原因になります。



- 3 右側の四角いシャフトにサッチング刃の四角い穴を合わせ挿込みます。



- 4 左側にサッチング刃をセットします。奥までしっかり入れます。



- 5 ロックレバーを押し上げながらホルダーを戻します。



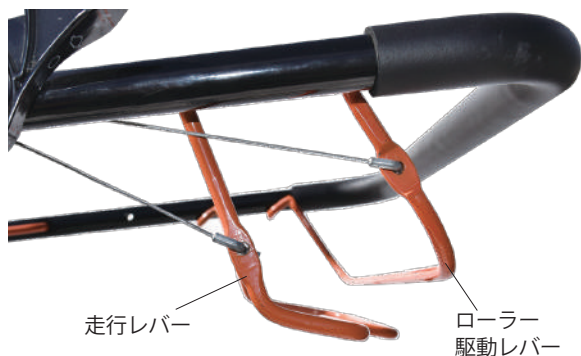
各部の取扱い



このQRコードを読み取ることで、「各部の取扱い」を動画でご覧いただくことができます。パソコンでご覧になる場合は、<http://www.shop.haige.jp/video/hg580-159s-00n.html>

走行レバーとローラー駆動レバー

レバーを握ると走行とローラーが回転します。



アクセルレバー

運転中に操作するとエンジンの回転数が変わります。
※回転数はレバーを止めた位置で自動調整されるガバナー式となっています。



レバーを「FAST」側

エンジンの回転数が上がり、吸い込みが強くなります。

レバーを「SLOW」側

エンジンの回転数が下がり、吸い込みが弱くなります。

レバーを「STOP」側

エンジンが止まります。

オイル給油口

オイルを給油する際、キャップを開けてオイルを給油します。



ドレンボルト

オイルを排出する際に、ドレンボルトを外してオイルを抜きます。



リコイルスターター

方向転換レバーで除雪ブラシを曲がりたい方向へ向けます。



各部の取扱い

高さ調整レバー

吸引口の高さを1~5段まで調整することができます。



ガイドローラー

壁際や縁石があるところで使用する場合は、ガイドローラーを取付けることで本体の損傷を回避することができます。



⚠ 注意

・紛失を防止するため、広い敷地等で使用する場合は取外しておくことをおすすめします。

ダストバッグ

吸い込んだ枯れ葉やゴミなどがダストバッグに貯まります。ジッパーを開ける内容物を捨てるすることができます。



運転前の点検

警告



- ・エンジンが熱いうちは、給油しないでください。
- ・燃料が漏れたり、こぼれたままエンジンをかけないでください。
- ・運転時、給油時、喫煙など火気を発生させないでください。
- ・ハイオクガソリンは使用しないでください。



- ・燃料を補給する時は必ずエンジンを停止して、屋外の換気の良い場所で行ってください。
- ・燃料をこぼさないように注意してください。所定のレベルを超えて補給しないでください。
- ・燃料がこぼれた場合は、直ちに拭取ってください。
- ・燃料は、無鉛レギュラーガソリンを使用してください。
- ・燃料キャップは確実に締めてください。
- ・長期保管する場合は、燃料タンクの燃料を抜き取り、火気のない所に保管してください。
- ・給油中、燃料タンク内に雪や水が入らないように注意してください。



この QR コードを読み取ることで、「運転前の点検」を動画でご覧いただくことができます。パソコンでご覧になる場合は、<http://www.shop.haige.jp/video/hg580-159s-00n.html>

エンジンオイルの点検・補充

エンジンオイル量・汚れを点検します。
オイル交換については、「点検・整備の仕方 P.28」を参照ください。

- 1 本体を水平な場所に移動させ、オイル給油キャップを外し、オイルゲージを布などで拭取ります。



- 2 オイル給油キャップを取付け一旦締付け、再度外します。

- 3 オイルが、オイルゲージのオイル量範囲(中央)まであるか点検します。



適正量はゲージの中央です。

推奨オイル	SAE 10W-30
オイル容量	0.55L

- 4 オイル量が少ない時は、新しいエンジンオイルを補充します。

- 5 補充後、給油キャップを確実に閉めてください。

注意

- ・エンジンオイルを入れ過ぎると、エンジンはかかりにくくなります。

燃料の点検・補充

燃料（無鉛レギュラーガソリン）の量を点検します。

- 1 燃料給油キャップを外し、液面を見て残量を確認します。少ないようであればガソリンを少しずつ給油します。



使用燃料	無鉛レギュラーガソリン
燃料タンク	1L

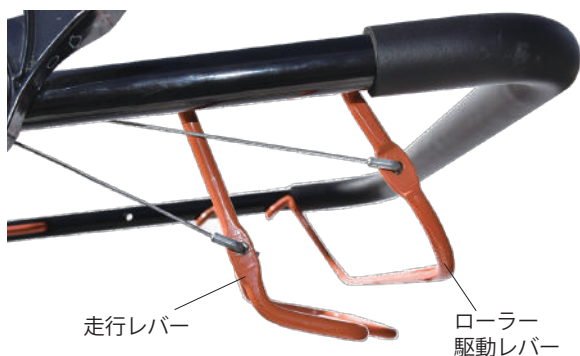
運転前の点検

走行レバーとローラー駆動レバー

走行レバーやローラー駆動レバーを握ったり放したりし、ワイヤの緩みや破損がないか確認します。

緩みがある場合は、調整をします。

ワイヤの調整については、「点検・整備の仕方 P.31」を参照ください。



アクセルレバー

アクセルレバーを「STOP」側にした際に、エンジン停止スイッチを押していることを確認します。

スイッチを押していない場合は、ワイヤの調整が必要です。(P.31参照)



エンジン停止スイッチ

ホースの点検

ホースに亀裂や穴が空いていないか点検します。また、接続が確実であるかも確認します。



各部の緩みやガタツキの点検

各部の緩みやガタツキがないか点検します。

ボルト、ナット等の緩みであれば、締付けます。

不具合の箇所が分からない場合は、お買い求めの販売店にご相談ください。

運転操作の仕方

警告

- 燃料の臭いがある場合、運転しないでください。爆発の危険があります。
- エンジンの排気ガスには人体に有毒な成分が含まれています。特に一酸化炭素は無色無臭で非常に強い毒性があり、吸入すると死亡の恐れがあります。
- 燃料が漏れたり、こぼれたままエンジンをかけないでください。
- 運転時、給油時、喫煙など火気を発生させないでください。
- 換気の悪い場所ではエンジンをかけないでください。
- エンジン回転中及び停止後しばらくの間はエンジンやマフラーなどが熱くなっています。触れるとやけどすることがありますので注意してください。
- 運転中に回転部及び可動部に手や足及び衣類を絶対に近づけないでください。触れると巻込まれ重大な事故の恐れがあります。
- 周囲の動植物等にも排気ガスが当たらないように注意をしてください。



このQRコードを読み取ることで、「運転操作の仕方」を動画でご覧いただくことができます。パソコンでご覧になる場合は、<http://www.shop.haige.jp/video/hg580-159s-00n.html>

エンジンのかけ方

- 1 アクセルレバーを「FAST」と「SLOW」の中間に合わせます。



- 2 リコイルスターターを少し重くなるまでゆっくり引き、そこから真っすぐ引張ります。



注意

- リコイルスターターロープを最後まで引出さないでください。
- 一度に6回以上は引張らないでください。
- 引いたリコイルスターターは途中で放さずに、ゆっくり戻してください。
- 運転中はリコイルスターターハンドルに手を触れないでください。

エンジンの止め方

- 1 アクセルレバーを「STOP」に合わせます。



運転操作の仕方

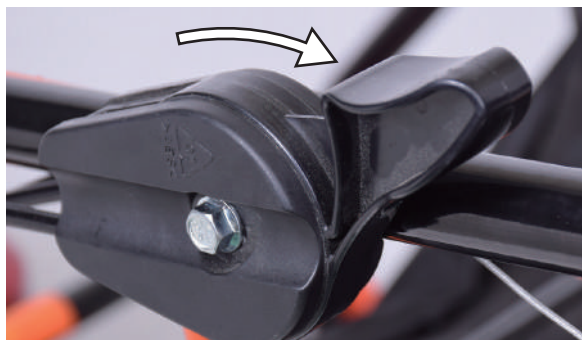
⚠ 注意

- 本機は、水平な場所に駐車してください。
- 作業終了後、本機に破損がないが確認し、破損が確認された場合は完全に修理してください。

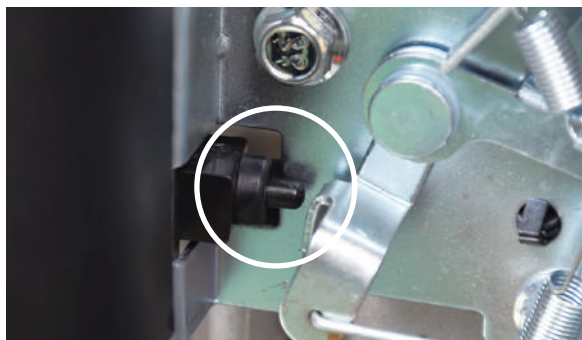
エンジンが止まらない場合

アクセルレバーを「STOP」側にしてもエンジンが止まらない場合は、エンジン停止スイッチを確認します。

- 1 アクセルレバーを「STOP」側にします。



- 2 エンジン停止スイッチが押されない場合は、エンジンが止まりません。ワイヤの調整が必要になります。(P.31 参照)



作業の仕方

警告



禁止

- 身体の調子が悪い時、判断力に影響するような酒類、薬物を服用している時は、使用しないでください。
- 動作中に回転部分に顔や手足を近付けないでください。
- ご使用時は、使用者から15m内は危険です、人や動物が入らないようにしてください。
- 夜間、悪天候時、霧の発生時など、視界が良くないときは使用しないでください。
- 足元が滑りやすい、転倒しやすい場所では使用しないでください。
- 作業中に異物に当たったり、異物を吸い込んだ場合には、速やかにエンジンを停止し、回転部が完全に停止してから異物を除去し、異常がないか調べてください。異常があった場合には、完全に補修した後でなければ装置を再始動しないでください。
- 燃料タンク内に燃料を入れたまま運搬、保管しないでください。
- 髪の毛、衣服等を回転部分に近付けないでください。



指示

- 適切な時期に休憩をとってください。
- 本機から離れる時は、必ずエンジンを停止してください。
- 危険を感じたり、予測される場合も、必ずエンジンをすぐに停止してください。
- 燃料タンク内に燃料を入れたまま運搬、保管しないでください。

吸い込み禁止(一例)

下記のようなものは、吸い込まないでください。故障の原因になります。



泥や水など



紐やリボン等絡まりやすいもの



コード類・針金類や鋭利なもの



ビニール袋など



家庭用のゴミや産業廃棄物など



石やブロック・レンガなど

バキューム機能を使う(ホースなし)

- 1 作業場所にある石や空き缶、木片、針金、ビニール袋等障害物を取除きます。
- 2 ノズルトップカバー下に吸引下プレートがある場合は、取外します。
- 3 高さ調整レバーで吸引口の高さを調整します。(P.19参照)

- 4 エンジンを始動します。(P.22参照)

- 5 ローラー駆動レバーと走行レバーを握り、作業場所に移動します。



注意

- エンジンをかけると同時にファンが回り吸い込みが開始されます。
- 走行レバーを握ると同時に本機が走行し始めます。身体を持っていかれないようご注意ください。
- 走行スピードが速いと感じた場合は、無理にその動きを止めずに、速やかにレバーを放し手押しで移動を行ってください。故障の原因になります。

作業の仕方

- 6 吸い込み状況をみながら、アクセレバーを操作しエンジンの回転を調整します。



ホースによるバキューム機能を使う

- 1 フロントにホースを取付けます。(P.13参照)
- 2 ノズルトップカバー下に吸引下プレートを取付けます。(P.14参照)



- 3 エンジンを始動します。(P.22参照)
- 4 ローラー駆動レバーと走行レバーを握り、作業場所の近くまで自走で移動します。または、ローラー駆動レバーと走行レバーを放して手押しで移動します。



⚠ 注意

- エンジンをかけると同時にファンが回り吸い込みが開始されます。
- 走行レバーを握ると同時に本機が走行し始めます。身体を持っていかれないようご注意ください。
- 走行スピードが速いと感じた場合は、無理にその動きを止めずに、速やかにレバーを放し手押しで移動を行ってください。故障の原因になります。

- 5 ホース先端を地面から5～10cm程度離し、吸引口では吸い込めない角や入り組んだ場所の枯れ葉や塵を吸い込みます。



- 6 吸い込み状況をみながら、アクセレバーを操作しエンジンの回転を調整します。



※回転数はレバーを止めた位置で自動調整されるガバナー式となっています。

作業の仕方

ブロアー機能を使う

- 1 作業場所にある石や空き缶、木片、針金、ビニール袋等障害物を取除きます。

警告

- ・作業場所の周りに人や動物がいないことを必ず確認してください。事故の原因になります。
- ・作業場所の周りに車、バイク、自転車等がないことを必ず確認してください。小石などが飛び、損傷を与えることがあります。

- 2 ノズルトップカバー下に吸引下プレートがある場合は、取外します。

- 3 リヤにホースを取付けます。(P.15参照)

- 4 エンジンを始動します。(P.22参照)

注意

- ・エンジンをかけると同時にファンが回り吸い込みが開始されます。
- ・走行レバーを握ると同時に本機が走行し始めます。身体を持っていかれないようご注意ください。
- ・走行スピードが速いと感じた場合は、無理にその動きを止めずに、速やかにレバーを放し手押しで移動を行ってください。故障の原因になります。

- 5 ローラー駆動レバーと走行レバーを握り、作業場所の近くまで移動します。または、ローラー駆動レバーと走行レバーを放して手押しで移動します。



- 6 ホース先端を地面から 5~10cm 程度離し、枯れ葉などを吹き飛ばします。



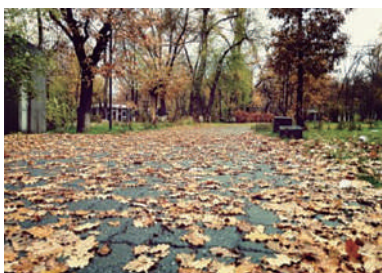
作業の仕方 オプション品

オプション品を装着して使う

■ローラーブラシ



道路上の湿った落ち葉やこびり付いた落ち葉の除去に、威力を発揮します。



■サッチング刃



芝生に堆積した古い根や枯れ草等のサッチを除去しながら吸い込めるアタッチメントです。バキュームで吸い込みながらサッチングをするため効率的で簡単に作業ができます。



1 ノズルトップカバー下の吸引口にローラーブラシまたはサッチング刃を取付けます。(P.16参照)

2 高さ調整レバーで吸引口の高さを調整します。(P.19参照)

3 エンジンを始動します。(P.22参照)

⚠ 注意

- ・ エンジンをかけると同時にファンが回り吸い込みが開始されます。
- ・ 走行レバーを握ると同時に本機が走行し始めます。身体を持っていかれないようご注意ください。

4 ローラー駆動レバーを握るとローラーが回転します。



5 移動する場合は、走行レバーも握ります。



⚠ 注意

- ・ 走行スピードが速いと感じた場合は、無理にその動きを止めずに、速やかにレバーを放し手押しで移動を行ってください。故障の原因になります。

6 吸い込み状況を見ながらアクセレバーを操作し、エンジンの回転を調整します。



※回転数はレバーを止めた位置で自動調整されるガバナー式となっています。

点検・整備の仕方

警告

- ・安全を確保し作業を行ってください。
- ・作業中にエンジンを始動するようなことは絶対にやめてください。また周囲に子供や動物が近づかないよう配慮をお願い致します。
- ・エンジン回転中及び停止後しばらくの間はエンジンやマフラーなどが熱くなっています。触れるとやけどすることがありますので注意してください。

注意

- ・作業には工具を使用することがあります。必ず用途やサイズの合ったものを使用し自身や周囲の確認をしながら安全に作業を行ってください。
- ・メンテナンス終了後は汚れが付着しない場所かカバーなどをかぶせて保管してください。

点検時期の目安

対象部品	点検項目	運転前の点検	初回の1ヵ月後又は20時間運転後	3ヵ月毎又は50時間運転毎	6ヵ月毎又は100時間運転毎	1年毎又は300時間運転毎
燃料	ガソリン量、漏れ	●				
エンジンオイル	オイル量	●				
	交換		●	●		
エアクリーナー	清掃			●		
	交換					●
点火プラグ	清掃				●	
	交換					●



このQRコードを読み取ることで、「点検・整備の仕方」を動画でご覧いただくことができます。パソコンでご覧になる場合は、<http://www.shop.haige.jp/video/hg580-159s-00n.html>

エンジンオイルの点検・交換

【エンジンオイルの交換】

初回 20 時間、以降 50 時間毎にエンジンが冷えた状態で行ってください。

■エンジンオイル交換の手順

- 1 廃油受け、厚紙等を準備します。
- 2 オイル給油キャップを緩めます。
- 3 下に廃油受けを置き、ドレンボルト下に厚紙等を敷き、ドレンボルトを 10mm のスパナで反時計回りに回し緩めると、オイルが出てきます。



- 4 排出が終わりましたら、ドレンボルトを確実に締めます。

- 5 市販のオイルジョッキを用意します。



- 6 新しいエンジンオイルをレベルゲージの中央までゆっくり少しずつ入れます。



点検・整備の仕方



推奨オイル	SAE 10W-30
オイル容量	0.55L

- 7** 補給後、オイル給油キャップを確実に閉めてください。

燃料の抜取り

- 1** 燃料タンクのキャップを外し、燃料を手動のポンプ等で抜きます。



- 2** 燃料を受ける容器を用意します。

- 3** O部分のネジを緩めることで、キャブレターの燃料を抜くことができます。



- 4** 燃料を抜き終わったら、緩めたネジは、必ずしっかり締めてください。

エアクリーナー

エアフィルタの汚れを点検し、汚れている場合は清掃をします。

- 1** エアクリーナーカバーの上のツメを押しながら外し、カバーを開き外します。



- 2** エアフィルタの汚れをエアブロー等で吹き飛ばします。
汚れがひどい場合は、エアフィルタの交換が必要になります。



- 3** 取外しと反対の手順で取付けます。

点検・整備の仕方

点火プラグの点検・整備

点火プラグを外し、電極の点検・清掃を行います。
※エンジンが冷えている状態で行ってください。

■使用工具

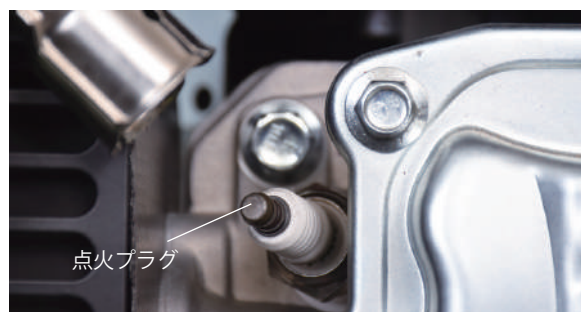
プラグレンチ、ワイヤブラシ

■点検・清掃の仕方

- 1 金属の点火プラグキャップを持って引抜きます。
※コードを持って引抜かないでください。



- 2 点火プラグをプラグレンチで取外します。(反時計回り)



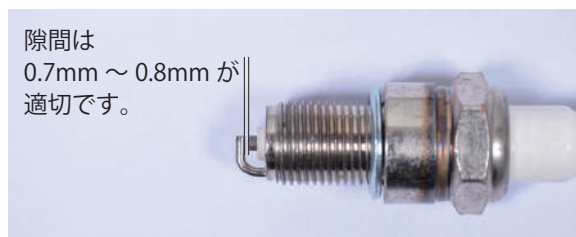
- 3 点火プラグをワイヤブラシで清掃します。



- 4 プラグキャップにプラグを確実にはめ、プラグ先端を金属部に当てながらリコイルスターターを引きます。この時プラグ先端から火花が出れば、正常です。※手袋着用で行ってください。



隙間は
0.7mm ~ 0.8mm が
適切です。



交換時期	250 時間運転毎
適応	BPR5ES(NGK)
点火プラグ	BPR7ES(NGK)

- 5 取外しと逆の手順で取付けます。

グリス・潤滑油の塗布

本機の使用後は回転部分・撓動部を清掃し、グリスを補給します。可動部分は、潤滑油を塗布します。
※グリスは市販のリチウムグリスをお使いください。

各部の緩みやガタツキの点検

各部の緩みやガタツキがないか点検します。
ボルト、ナット等の緩みであれば、締付けます。
不具合の箇所が分からない場合は、お買い求めの販売店にご相談ください。

各部の異音の点検

始動後、エンジン、その他の部位から異音がないか点検します。異常がある場合は、お買い求めの販売店にご相談ください。

点検・整備の仕方

走行・ローラー駆動ワイヤの張り調整

走行レバーを握っても走行しない場合やローラー駆動レバーを握ってもローラーが回転しない場合は、ワイヤの張りを調整します。

- 1 下部の長ナットを回します。
※写真は最もゆるい状態です。



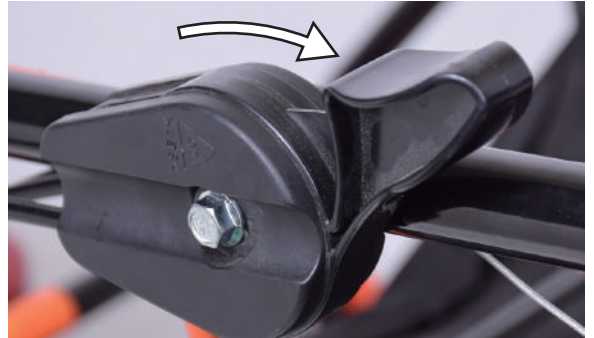
- 2 上部の留めナットを回し下まで降ろし締付けます。
※ワイヤを張り過ぎると切れることがありますので、ご注意ください。



アクセルワイヤの張り調整

アクセルレバーを「○」側にしてもエンジンが止まらない場合は、ワイヤの張りを調整します。

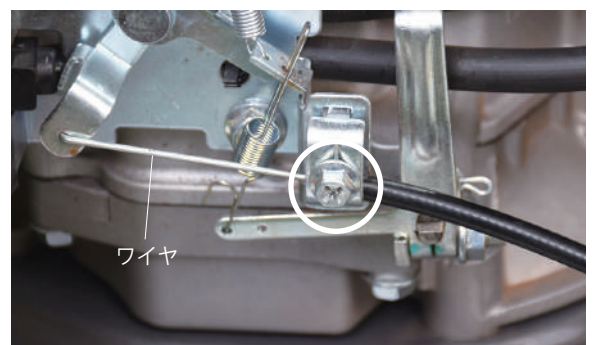
- 1 アクセルレバーを「○」側にします。



- 2 エンジン停止スイッチが押されない場合は、エンジンが止まりません。



- 3 ネジを緩め、ワイヤがスイッチを押すところまで引き出したらネジを締め付けます。



- 4 アクセルレバーを数回動かし、「STOP」側した時にエンジン停止スイッチを押しているか確認します。

長期間使用しない時

本機を長期に渡り使用しない時は、次のお手入れを行ってください。

- 1** 保管する時は、平坦で堅い地面に水平に置てください。
- 2** 燃料タンク、キャブレターの燃料を抜きます。
(P.29参照)
- 3** 又は、エンジンをかけ、燃料切れで停止するまで回し、キャブレター内の燃料を使い切ります。
- 4** 各部のよごれを落とし、水分が残らないよう、きれいに清掃します。
- 5** 各部のボルト類の破損、腐食、緩みを点検します。
- 6** 防錆、潤滑油を塗布します。
- 7** 本体にカバーをかけ、湿気の少ない換気の良い場所に保管してください。

故障と思ったら

●エンジンがかからない

症状	原因	対処
点火プラグに火花が出ていない ※火花の確認方法は、P.30 参照	始動スイッチボタンの不良	交換
	点火プラグ不良	交換 (P.30 参照)
	点火プラグ・キャップ接続不良	確実に接続
	イグニッションコイルの不良	交換
キャブレターに燃料が来ていない	燃料が入っていない	燃料を入れる (P.20 参照)
	燃料ホースの詰まり、漏れ	ホース清掃、交換
	燃料タンクの錆び又は、異物混入による詰まり	交換、フィルタ清掃
キャブレターに燃料は来ているが、エンジン内に燃料が来ていない	キャブレター詰まり (ニードル・バルブ固着)	キャブレター分解掃除
	オイルの入れすぎ	オイル交換 (P.28 参照)
	オイルにガソリンが混ざっている	オイル交換 (P.28 参照)

●エンジンはかかるが、すぐ停止したり、停止しそうになる

症状	原因	対処
	エアフィルタの汚れ	清掃又は交換 (P.29 参照)
	キャブレター詰まり (ニードル・バルブ固着)	キャブレター分解掃除
白煙が出る	オイルの入れすぎ	オイルを抜く (P.28 参照)

●うまく吸引出来ない・飛ばせない

症状	原因	対処
吸引口から吸引出来ない	吸引下プレートが付いている	吸引下プレートを外す
	パワーが弱い	アクセルレバーを「うさぎ」側に
	吸引口の高さ高すぎる	高さを調整する (P.19 参照)
ホースから吸引出来ない	ホースが外れている	接続し直す
	ホースに亀裂や穴が開いている	交換
ブローアの風圧が弱い	吸引下プレートが付いている	吸引下プレートを外す (P.26 参照)

●走行しない

症状	原因	対処
全く動かない	走行ワイヤの緩み	調整 (P.31 参照)

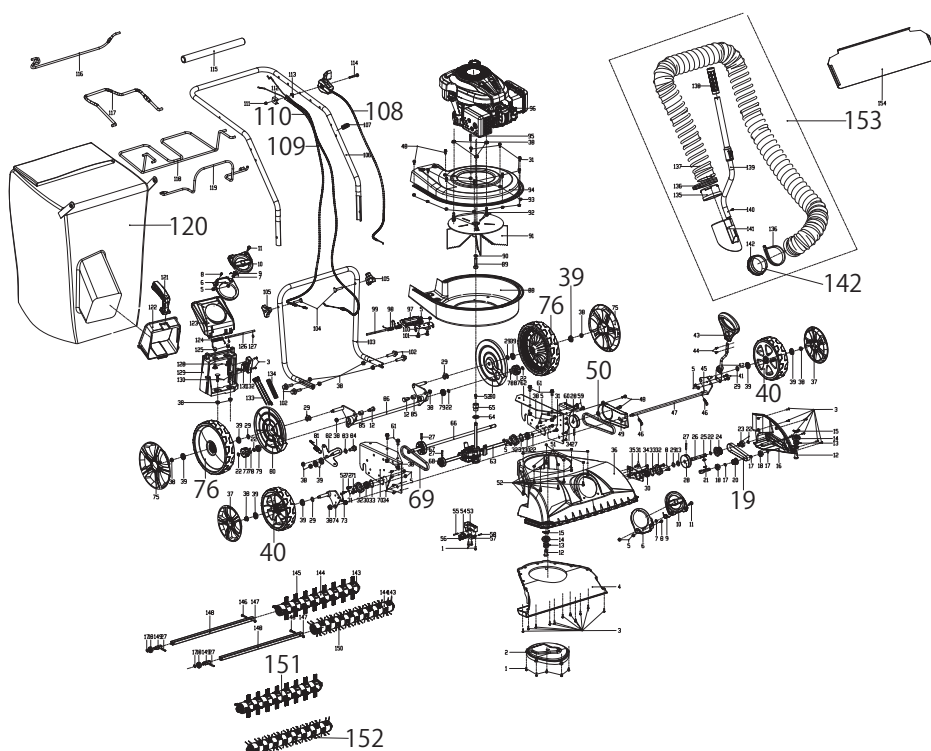
消耗品一覧・ご注文

部品番号	商品コード	備考	価格(税抜)	注文個数
部品 19	580-159 s -00- p019 n	アタッチメント駆動タイミングベルト	1,000 円	
部品 39	580-159 s -00- p039 n	フランジ付ベアリング	300 円	
部品 40	580-159 s -00- p040 n	フロントホイール	1,900 円	
部品 50	580-159 s -00- p050 n	アタッチメント駆動Vベルト	800 円	
部品 69	580-159 s -00- p069 n	走行ベルト	500 円	
部品 76	580-159 s -00- p076 n	リアホイール	2,300 円	
部品 108	580-159 s -00- p108 n	スロットルワイヤ	800 円	
部品 109	580-159 s -00- p109 n	アタッチメント駆動ワイヤ	1,000 円	
部品 110	580-159 s -00- p110 n	走行ワイヤ	1,000 円	
部品 120	580-159 s -00- p120 n	ダストバッグ	7,700 円	
部品 142	580-159 s -00- p142 n	ホースアタッチメント	800 円	
部品 153	580-159 s -00- p153 n	ホースアッセンブリ	19,500 円	
オプション部品 151	580-159 s -00- p151 n	ローラーブラシアッセンブリ	7,000 円	
オプション部品 152	580-159 s -00- p152 n	サッチング刃アッセンブリ	7,000 円	

使用することで消耗する部品または劣化する部品は全て保証適用外となります。

ゴムを使用する部品、皮を使用する部品、樹脂を使用する部品、スポンジ類、紙類、パッキン類、ギア・ベアリング等の干渉する部品、ボルト、ナット、ヒューズ、モーターブラシ、チェーン、バルブ内部の部品、バネ、潤滑油、燃料、作動油、刃または先端部品、クラッチ、シャープピン等の緩衝部品、ワイヤ、バッテリー、点火プラグ等

※価格は改定される場合があります。



※電話・FAXでのご注文は、代金引換での販売となります。

代金引換手数料	
10,000 円未満	300 円
10,000 円～ 30,000 円(税別)のご注文	400 円

送料	
10,000 円以上(税別)のご注文	無料
10,000 円未満(税別)のご注文	一律 800 円

※別途消費税がかかります。

★FAX でのご注文の場合は、上部表右の注文個数を記入し、下記に必要事項をご記入の上送信してください。

FAX.0276-55-2276

記入日	令和	年	月	日
-----	----	---	---	---

お客様情報	
フリガナ	
氏名 会社名	様
ご住所 お届け先	〒 —
電話番号	FAX 番号

本規約は、ハイガー産業株式会社(以下「弊社」とする)を経由して販売させていただいた該当商品に関して保証する内容を明記したものです。弊社商品には商品保証書等は同梱しておりません。お客様の購入履歴や保証情報は弊社にて管理・保管しておりますのでご安心ください。返送いただく場合商品を再梱包していただく必要がございますので、梱包材はお捨てにならないようお願いいたします。

1. 保証の期間

商品発送日(ご来店引取の場合ご来店日)から1年間といたします。業務用・営業用として使用される場合、保証期間は6ヶ月といたします。保証期間を超過しているものについては、保証の対象外となり有償対応となります。発送日より7日以内の初期不良にあたる場合、送料・手数料弊社負担にて対応いたします。

2. 保証の適用

- ・お買い上げいただいた弊社商品を構成する各部品に、材料または製造上の不具合が発生した場合、本規約に従い無料で修理いたします。(以下、この無料修理を「保証修理」とする)往復送料や出張修理を行った場合の出張料は、お客様のご負担となります。
- ・保証修理は、部品の交換あるいは補修により行います。保証修理で取り外した部品は弊社の所有となります。
- ・本規約は、第一購入者のみに有効であり、譲渡することはできません。ご購入された年月日、販売店、商品、製造番号の特定が出来ない場合、保証が受けられない可能性がございます。
- ・本規約の対象となる商品とは、日本国内で使用し故障した商品とします。日本国外に持ち出した時点で保証は無効となります。

3. 保証適用外の事項

- (1)純正部品あるいは弊社が使用を認めている部品・油脂類以外の使用により生じた不具合
- (2)保守整備の不備、保管上の不備により生じた不具合
- (3)一般と異なる使用場所や使用方法、また酷使により生じた不具合
- (4)取扱説明書と異なる使用方法により生じた不具合
- (5)示された出力や時間の限度を超える使用により生じた不具合
- (6)弊社が認めていない改造をされたもの
- (7)地震、台風、水害等の天災により生じたもの
- (8)注意を怠った結果に起きたもの
- (9)薬品、雨、雹、氷、石、塩分等による外から受ける要因によるもの
- (10)使用で生じる消耗や時間の経過で変化する現象(退色、塗装割れ、傷、腐食、錆、樹脂部品の破損や劣化等)
 - (11)機能上影響のない感覚的な現象(音、振動、オイルのにじみ等)
 - (12)弊社または弊社が認めているサービス店以外にて修理をされた商品
 - (13)使用することで消耗する部品または劣化する部品(ゴムを使用する部品、皮を使用する部品、樹脂を使用する部品、スポンジ類、紙類、パッキン類、ギヤ・ベアリング等の干渉する部品、ボルト、ナット、ヒューズ、モーターブラシ、チェーン、バルブ内部の部品、バネ、潤滑油、燃料、作動油、刃または先端部品、クラッチ、シャーペン等の緩衝部品、ワイヤ、バッテリー、点火プラグ等)
 - (14)保証修理以外の、調整・清掃・点検・消耗部品交換作業等
 - (15)商品を使用できなかったことによる損失の補填(休業補償、商業損失の補償、盗難、紛失等)

4. 別扱いの保証

部品メーカーが個別に保証している部品については部品メーカーの保証が適用されます。

5. 保証修理の受け方

まずはお問い合わせフォームにて弊社へご連絡いただきたく存じます。
またはお近くの修理協力店へご連絡くださいませ。
症状・使用状況を伺い、お手順方法をご案内させていただきます。

6. 注意事項

- ・動作点検を行ってから出荷しておりますので、燃料や水分が残っていたり、多少の傷や汚れ等が付いている場合がございます。
- ・部品の在庫がない場合、お取り寄せにお時間をいただく場合がございます。
- ・仕様変更などにより同時交換部品が発生する場合がございます。
- ・仕様変更などによりアッセンブリーでの供給しできない場合がございます。
- ・生産終了品につきましては、部品供給次第で修理不可能な場合がございます。
- ・無在庫転売者(送り先が毎回違う購入者)の場合、転売者より購入した商品の場合、保証は無効となります。また発覚次第転売者への措置を取らせていただきます。

- アフターサービスについて■
1. 販売機種が対象となります。※弊社で商品をお買い上げの方に限らせていただいております。
 2. 生産終了品につきましては、部品供給次第で修理不可能な場合がございます。
 3. 保証期間(1年間)を過ぎたものは、保証期間内におけるご使用回数に関係なく、すべて有償となります。
 4. 修理の際の往復の送料はすべてお客様ご負担となります。
 5. 修理協力店へご依頼の際は、直接修理協力店に修理代をお支払いください。

お客様ご相談窓口

故障部品をお客様で交換される場合

まず、ご購入された店舗にご連絡をしてください。
保証期間内は消耗品を除き、壊れた部品は弊社で保証致します。
その際に生じる往復の送料は全てお客様のご負担となります。

お客様

①故障の状況をメールまたはお電話でご連絡ください。また、故障箇所の写真等を、メールに添付してください。

④送料お客様ご負担で、代替部品を発送致します。

ハイガー産業または販売・修理店

- ②受付
- ③故障内容の確認

故障部品をメーカーで修理する場合

ネット購入や弊社で電話・FAXにてご購入の場合は、弊社にご連絡をしてください。
保証期間内は消耗品を除き、壊れた部品は弊社で保証致します。
その際に生じる往復の送料、また修理工賃は全てお客様のご負担となります。

お客様

①故障の状況をメールまたはお電話でご連絡ください。また、故障箇所の写真等を、メールに添付してください。

②送料お客様ご負担で故障装置を発送してください。

⑤お見積り提示。

⑥送料お客様ご負担で、故障装置を発送いたします。

ハイガー産業

- ③受付
- ④故障内容の確認
- ⑥お見積り了承
- ⑦故障装置の修理

故障部品を販売・修理店で修理する場合

まず、ご購入された販売・修理店にご連絡をしてください。
保証期間内は消耗品を除き、壊れた部品は弊社で保証致します。
その際に生じる往復の送料、また修理工賃は全てお客様のご負担となります。
遠方の場合の出張修理や引取り修理は、別途料金が発生致します。

お客様

①故障の状況をお電話でご連絡ください。その際、持ち込み修理*1か、引取り修理*2か、出張修理*3かを相談させていただきます。

⑤持ち込み修理の場合、修理完了後ご来店ください。引取り修理の場合は、修理完了後お届け致します。
※ご希望に応じて相談させていただきます。

販売・修理店

- ②受付
 - ③故障内容の確認
 - ④故障装置の修理
- *1 お客様ご自身が販売・修理店に製品を持ち込むことをいいます。
*2 販売・修理店がお客様のご自宅まで製品を引き取りに行くことをいいます。
*3 販売・修理店がお客様のご自宅まで行き、その場で修理を行うことをいいます。

修理、部品に関するご相談

修理依頼される時は、下記を事項ご連絡ください。

- ①ご注文番号
- ②商品名
- ③商品の型番
- ④故障の状況
- ⑤購入サイト、年月日
- ⑥お名前
- ⑦ご住所
- ⑧電話番号

修理、使い方などのご連絡窓口

お手数ですが、今一度本取扱説明書を熟読し、弊社のサイトや動画等を見ていただき、問題が解決しない場合は、下記までお問い合わせください。

●お問い合わせ先：下記カスタマー・サポート・センター

販売・修理店

販売・修理店は随時増えています。販売・修理店により修理対応機械が異なりますので、最新情報は下記サイトをご覧ください。

オフィシャルサイト ▶ <http://www.haige.jp/agency.html> ハイガー修理 検索

本店サイト ▶ <http://www.haigeshop.net/new/2015-07-02-113023.html>

楽天サイト ▶ <http://www.rakuten.ne.jp/gold/haige/after.html>

ヤフーサイト ▶ <https://shopping.geocities.jp/haige/after.html>

※ハイガー産業は、顧客満足度100%を目指し、日々製品(部品やカラーも含め)の改良を行っています。そのため、予告なく仕様を変更する場合があります。また、取扱説明書に最新情報が反映されない場合があります。ぜひご理解・ご了承ください。

「製品のお困り事」は、カスタマー・サポート・センターへ。

「製品が利用できない」、「故障かな?」、「修理をしたい」、「パーツを購入したい」など、下記カスタマー・サポート・センターへ、お問い合わせください。



24時間365日
無休受付



カスタマー・サポート・センターお問い合わせ窓口

<https://haige.jp/c/>



ハイガー産業 株式会社

〒370-0503
群馬県邑楽郡千代田町赤岩3072-3

ハイガー 検索

<http://www.haigeshop.net/>



緊急の方へ

電話窓口

ご協力をお願い

重要なお問い合わせ

0276-55-2275

お電話が殺到しており、繋がりにくい状態が続いております。ご迷惑をおかけしますが、緊急の場合を除き、インターネットからお問合せください。
お電話を頂く場合は、上記の URL のカスタマー・サポート・センターの「お問合せフォーム」を必ずご参考のうえ、お問い合わせください。ご対応に必要な事項が記載されています。

受付：月曜日～金曜日 10:00～17:00 第1・第3・第5土曜日 10:00～12:00
受付中止：平日 12:00～13:00 ©定休日：第2・第4土曜日、日曜日、祝祭日